

# 9月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。  
今回は12月定例会が開催予定です。



# いちかわ

# 市議会だより

## 9月定例会

# 市長提出議案16件を可決 職員へのパワハラに関する発議案2件を審議



新たに開館した市川市学習交流施設「市本」の様子

市議会は、令和3年9月定例会を9月3日から9月13日まで開催しました。

9月定例会では、市長から、「令和3年度市川市一般会計補正予算(第7号)」などの議案15件と諮問1件、報告11件が提出され、これらを一括議題として8会派が代表質問を行いました。また、追加議案として、「学習用タブレット等の購入について」の議案1件も提出されました。

議員からは、「村越祐民市長に「越川雅史議員からパワハラを受けたという職員に対し、第三者機関へ申し出ることを進言することを求める決議について」(要旨については7面に掲載)などの発議14件が提出されました。本会議での採決の結果、追加議案を含む市長提出議案の16件をいずれも原案通り可決し、諮問1件を異議ない旨答申しました。議員提出議案については、提出された14件のうち、意見書案5件、決議案1件を可決、意見書案3件、決議案5件を否決した他、請願1件を採択しました。

なお、今定例会では、コロナ禍における本市の状況を踏まえ、一般質問を取りやめた他令和2年度決算の審査については閉会中継続審査とし、会期の短縮を図りました。  
(代表質問は2〜6面、審議結果一覧は7〜8面に掲載)

### 決算審査特別委員会

- |      |          |
|------|----------|
| 委員長  | 松永 鉄兵    |
| 副委員長 | かつまた竜大   |
| 委員   |          |
| 長友   | 正徳 小山田直人 |
| 鈴木   | 雅斗 国松ひろき |
| 廣田   | 徳子 久保川隆志 |
| 越川   | 雅史 かいづ 勉 |
| 金子   | 正        |

### ◆主な議案

○市川市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例の一部改正等について  
前期高齢者が多い本市南部の地域特性等を踏まえ、南行徳老人いこいの家及び南行徳アイサービスセンターを介護予防に取り組み施設に転換するため、これらの施設を廃止するものです。

### 【主な質疑】

「本市の南部圏域では前期高齢者が多いとのことであるが、他の圏域と比べてのくらい多くなっているのか」との質疑に対し、「前期高齢者の人数については、他の圏域が1万2千人程度となっているのに対し、南部圏域では約1万6千人になっている。また、高齢者のうち前期高齢者の割合については、他の圏域が50%程度となっているのに対し、南部圏域では57.1%と、後期高齢者より前期高齢者の割合の方が高くなっている」との答弁がなされました。また、「施設の転換に伴い、工事期間中は現在の利用者に対して、代替施設を案内する予定であるとのことだが、現在の利用者数及び代替施設の想定はどのようになっているのか。また、転換後の施設の供用開始はいつになるのか」との質疑に対し、「南行徳老人いこいの家では、新型コロナウイルスの影響で一時的に閉鎖していたことから令和2年度の延べ利用者数が約2400人となっており、代替施設には、福栄、塩浜、日之出等の近隣の老人いこいの家を考えている。南行徳アイサービスセンターでは、2年度において、一般利用の登録者40人に対し、平均利用者数が14人。認知症の登録者4人に対し平均利用者数が2.1人となっており、代替施設には、行徳圏域にある28の広域型・地域密着型のアイサービスセンターを考えている。また、転換後の施設については5年度の供用開始を目指している」との答弁がなされました。

### ○市川市学習交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について

本を通じた学習及び交流の場を提供し、コミュニティの形成を促進することにより、市民等が学び続けられる環境の醸成を図るための施設として学習交流施設を開設することに伴い、その設置及び管理について定めるものです。

### ○令和3年度市川市一般会計補正予算(第7号)

一般会計補正予算案は、歳出において、未来都市モデル事業委託料、市民プール監視員募集広告料、施設管理等委託料、返還募地助成金など、歳入において、地方特例交付金、市民プール使用料、個人番号関係手数料、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、それぞれ3億5748万8千円を追加し、歳入歳出の総額を1660億2024万4千円とするものです。

### ◆報告

9月定例会では、専決処分承認を求めた報告3件がなされ、議会はこれを承認しました。また、健全化判断比率、資産不足比率、下水道事業会計予算の継続費の継続年度終了による精算などの他、専決処分の報告4件の、合わせて8件の報告がなされました。

# 代表質問

9月定例会では、新型コロナウイルスに関する本市の状況を踏まえ、議員個人が市政全般について質問を行う一般質問をすべて取りやめた代わりに、代表質問における各会派の発言時間を延長すると共に、発言時間の枠内で、一般質問に準じた形式（一般質問形式）での質問も行えることとしました。ここでは、代表質問（一般質問形式を含む）のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。

※9月定例会の代表質問は8月30日に通告を締め切り、9月3日から4日間の日程で行いました。

## 公明党

西村 敦

〔一般質問形式〕  
小山田直人

久保川隆志

〔総括質問者〕  
浅野 さち

中村よしお

宮本 均

大場 諭

堀越 優

## 生活困窮者の自立支援

**問** 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金は、コロナ禍において生活に困窮し、一定の要件を満たす世帯を対象としているが、本支援金の対象者に対して、あらかじめ利用案内を送付することについて、市の方針を問う。

**答** 本支援金の利用案内は、令和3年7月に、対象となる個々の世帯に対して申請

書類を既に発送している。

また、周知に関しては、広報いちかわをはじめ、市公式ウェブサイトなど、様々な媒体を通じて広く知らせている。更に、3年8月末には、未申請者に対し、申し込み勧奨通知を送付する等、期限までに申請漏れとなることのないよう、繰り返し対象者に周知を図っているところである。

## 中小法人等の事業継続支援

**問** 国の中小法人等への月次支援金は、月の売り上げが前年又は前々年同期との比較で50%以上減少していることが要件だが、令和2年度本市が実施したアンケートでは、要件を満たす事業者の割合が10%程度であったことから、対象とならない事業者が多く存在することが想定される。そのため、3年9月1日より、本市独自施策の支援金給付の申請受け付けを開始したとのことだが、本事業の概要及び給付による効果を問う。

**答** 本事業は、3年4月から8月までの間、申請月の売り上げが前年又は前々年同期との比較で20%以上減少している等一定の要件を満たす場合、支援金を給付するものである。給付額はひと月当たり5万円であり、当該期間の全ての月が対象となる場合には、最大25万円が給付されることとなる。また、支援対象は1200件を見込んでおり、国の支援金や県の飲食店等への協

力金の対象とならない事業者に対して、負担軽減と事業の継続に資する効果があるものと考えている。

## 通学路の安全対策

**問** 令和3年6月に発生した八街市での事故を受け、市内各小学校の通学路の一点検を行ったとのことだが、今回緊急的に修繕や補修を行う箇所は、どのように選定したのか。また、国・県道における通学路の安全対策の内容について問う。

**答** 各小学校が一点検を行った結果抽出された危険箇所について、教育委員会、道路交通部、国、県、警察が合同で現地調査を行い、実施可能な安全対策手法等について検討及び協議した上で、道路幅員や交通量現在の安全施設の状態等から修繕や補修箇所の選定をしたところである。その結果、本庁管内は、防護柵等の設置が8カ所、カラー舗装等の設置が11カ所、行徳支所管内は、防護柵等の設置が4カ所、カラー舗装等の設置が6カ所、合計29カ所を選定したものである。また、国・県道において安全対策が必要な箇所は計24カ所あると判断されたため、早急に安全対策を実施するよう国や県に要望していく。

## 優先接種

**問** 我が会派では本年、書面にて計7回の緊急要望を市長宛に提出しているところであるが、市はその要望の中にある、保育従事者や教職員等の社会的根幹を支える、いわゆるエッセンシャルワーカーに対するワクチン接種を優先的に進めるとのことである。そこで、市はどのような手順及び内容で接種を進めていくのか。令和3年9月3日より、本市独自の取り組みとして、保育従事者や小中学校の教職員等へのワクチンの優先接種を行っている。接種場所は南八幡にある保健センターで、1回目の接種を同年9月3日から実施し、2回目の接種を同年9月24日から行う予定である。また、接種対象者は、小中学校や幼稚園の教職員、放課後保育クラブや放課後子ども教室

室において従事する職員、保育士等であり、1日当たり約300人の接種を予定しているところである。

## 学習用タブレット

**問** 本市では、小学4年生から中学3年生及び教職員に対しては、既に学習用タブレットの配布を済ませたとのことである。今後は、全ての児童生徒へのタブレット配布や、家庭での活用のため、タブレットを持ち帰る取り組みが始まると聞くが、タブレット活用に向けた取り組み状況を問う。

**答** 現在は、不足分のタブレット端末の調達をはじめ、教職員への研修、児童生徒に対してタブレットの設定や初期操作の指導を行う等、予定通りに準備を進めている。また、各学校には準備に関する内容を事前に提示していたが、タブレットの有効活用に向け、先行して研究を進めている教職員も多数いるところである。今後は、コロナの影響による休校や、学校に來れない児童生徒への対応を含め、タブレットの機能を最大限に活かすことができるよう、継続的に取り組んでいく。

## 下水道接続工事費用の貸付

**問** 令和4年4月1日施行の「市川市水洗便所改造資金貸付条例」の一部改正により、市は下水道に未接続の共同住宅に対し、限度額が1棟80万円、償還期間が80カ月以内で資金を貸し付けることができることとなるが、その算定根拠を問う。

**答** 貸付金の限度額は、下水道接続切り替え工事費用の過去5年平均から算出しており、償還期間は、返済の負担や他市の事例を考慮し月々の返済額が1万円程度になるよう設定したものである。また、周知・啓発については、市公式ウェブサイトへの掲載や案内文の送付により共同住宅の所有者に知らせる他、本市に登録のある全ての指定排水設備工事業者にはメールにて通知していく。なお、新たに下水道の供用が開始される地域では、工事説明会の際に周知する予定である。

## コロナ感染者の重症化対策

**問** 現在、東葛南部地域の病床使用率は80%を超えている。救急搬送時、入院先の調整に10時間近くかかるケースも発生し、自宅療養者の重症化を防ぐことが課題となっている。新型コロナウイルス対策は、感染症法に基づき県の保健所が主体となるが、市民の命を守る最前線は本市であると考えられる。そこで、県で運用を考えている入院待機ステーションとはどのようなものか。また、本市も独自に設置すべきと考えられるが、市の方針を問う。

**答** 入院待機ステーションは、救急搬送された患者の入院先が決まるまでの間、一時的に受け入れて、酸素投与等の必要な処置を行い入院に繋げる施設である。患者の負担軽減や医療資源の有効活用を踏まえ、本市でも早急に検討及び準備を進め、患者が安心できる体制を整備していきたい。

**自由民主党**

中山 幸紀

〔一般質問形式〕  
かいづ 勉

〔総括質問者〕  
細田 伸一



**公明党**

西村 敦

〔一般質問形式〕  
小山田直人

〔総括質問者〕  
浅野 さち

宮本 均

堀越 優



**公共施設の消毒作業**

**問** 公共施設において新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、流山市や野田市等では専門業者に消毒作業を依頼している一方で、船橋市では市職員自らが消毒作業を行っている例が見受けられる。本市においても感染者が発生した際は、後更に感染が拡大する可能性がある場合においては、



学習用タブレットを使用した授業の様子



# 代表質問

## 日本共産党

清水みな子

金子 貞作

高坂 進

やなぎ美智子

廣田 徳子

高坂 進

### 通学路の安全対策

**問** 令和3年6月、八街市で下校中の児童がトラックにはねられ、2名が死亡、1名が意識不明の重体、2名が重傷を負った。これを受け、同市では、事故があった道路を狭くし、歩道を確保するための補正予算を可決したとのことだが、本市における通学路の安全対策の現状及び県道が通学路に指定されている危険箇所

の状況はどうなっているか。  
**答** 本市では当該事故を受け、同年7月26日より市内公立小学校及び義務教育学校の39校における通学路の緊急一斉点検を実施した。その結果、安全対策が必要な箇所が184カ所あり、その中に国道3カ所、県道21カ所も含まれていたため、国・県に対して対策を施すよう要望すると共に、連携して、危険箇所への対策に取り組み他、対策実施後の効果検証の結果を3年度末に教育委員会ホームページ

## 立憲民主・社民

中町 けい

かつまた竜大

つちや正順

### 抗体カクテル療法等の推進

**問** 現在、新型コロナウイルス「デルタ株」の感染が拡大している。「デルタ株」は、感染力が強く増殖のス

ピードが速いとされ、何らかの対策が急務であるにも関わらず、遅々として進んでいない。そこで、中等症患者の重症化予防に効果があるとされる「抗体カクテル療法」や「レムデシビル」の投与の推進が有効と考え

### 養護老人ホーム いこい荘

に公開する予定である。

**問** 養護老人ホームいこい荘は令和6年に建て替えることになっているが、周辺の住民にとって、当該施設の建て替えや周辺の崖地の整備手法等は非常に関心が高いことと思われる。そこで、当該施設の建て替えスケジュール及び周辺の崖地の整備手法等について、市の今後の方針を問う。

**答** 養護老人ホームいこい荘の建て替えのスケジュールは、3年度から5年度に南東斜面地の整備工事として、測量、地質調査、実施設計、工事を完了させた後、6年度に施設を除去して、7年度以降に社会福祉法人により、医療と介護の連携による地域の在宅介護を支えるためのサービスを提供する、新たな施設が整備される予定である。崖地については、現在現況測量を終えて、地質調査を実施しているが、整備手法等については、この調査の結果等に基づき、設計に着手した段階で検討していく。

### ワンストップサービス

**問** 本市のワンストップサービスについて、「以前より良くなった」、「以前と比べ全然良くなった」、「等」両極端な声が市民から寄せられている。同サービスについては、令和3年6月定例会においても取り上げら

れており、現在は何らかの変化があると考え。そこで、同サービスの現状と課題について市の認識を問う。

**答** 複数課にまたがる手続きの場合、同サービスの流れに沿うことにより1カ所で完了し、1つの課で手続きが完了する場合は、専用ブースを設置し手続きが迅速に終了するようにしている。このように状況に合



令和3年1月に開始されたワンストップサービス

### 保育士のワクチン優先接種

**問** 現在、本市の若い保育士の多くは新型コロナウイルスのワクチン接種が未了である。当該保育士は、人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている。いわゆるエッセンシャルワーカーに当たるため、ワクチンの優先接種を受けられると思うが、本市における保育士のワクチン接種はどのようになっているのか。

**答** 令和3年6月初め、国が職域接種の受け付けを開始したため、申請を行う準備を進めていたが、その後受け付けが休止となった。しかし、保育士については子どもなどへの感染の影響を考えると少しでも早く接種を進める必要がある。本市では市内5カ所の集団接

### コロナ感染者の救急搬送

**問** 新型コロナウイルスの新規感染者急増に伴い、医療体制が逼迫している。昨今救急搬送困難事例が大きく取り上げられているが、それ以上に、医療が直接関わっていない不搬送は重大かつ深刻な問題であると考える。そこで、本市において

種会場において、当日キャンセル分を優先して保育士に配分することで対応してきた。8月に入り、ワクチンの供給量の目途が立ったことから、9月3日より、保育士に対する優先接種を正式に開始している。

**答** 本市におけるコロナ陽性者に対する不搬送の件数は、令和3年7月と8月の2カ月間で297件、陽性者へ出動した件数の52%で、同期間に不搬送となった一般の救急事案の約3倍である。また、同年7月からは保健所が入院優先度判断基準に基づき陽性者のトリアージを行っており、自宅待機と判断した場合に不搬送となる。このような場合、傷病者に容体の急変や症状の悪化があれば救急要請をするように伝え、急変時の早期対応と傷病者の心情等に留意して対応している。

### ごみ集積所の感染防止策

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、自宅療養者が増加する中で、一部の自宅療養者からは自分達がごみ集積所に出したごみ袋が破けるなどした場合、他の利用者やごみを回収する清掃作業員が感染のリスクに晒されるのではないかと不安の声も聞かれる。そこで、ごみ集積所における

感染リスクの低減に向けた市の対策について問う。

**答** 本市では、ごみ集積所における感染防止策として、家庭ごみの捨て方について、環境省が作成したリーフレットを活用し、市公式ウェブサイトや広報紙等により市民に対する周知・啓発に繰り返し努めてきた。また、清掃作業員に対し、関係団

新型コロナウイルスなどの感染症対策のための  
**ご家庭でのごみの捨て方**

— 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

- 01 ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう!
- 02 ごみ袋の空気を抜いて出しましょう!
- 03 生ごみは水切りをしましょう!
- 04 普段からごみの減量を心がけましょう!
- 05 自治体の分別・収集ルールを確認しましょう!

出典：環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/recycle/waste/sp\_contr/infection/coronakoho.html)  
「新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方 ～家庭ごみを出すときに心がける5つのこと～」をもとに作成

新型コロナなどの感染症対策のための家庭ごみの捨て方

体を通じて感染防止方法の指導を行うと共に、マスクやフェイスシールドを配布している。今後もごみ集積所における感染リスクを低減すべく、このような対



# 代表質問

## 緑風会 第1



竹内 清海  
〔一般質問形式〕  
青山ひろかず

〔総括質問者〕  
鈴木 雅斗  
荒木 詩郎

### SGNP検査法の活用

**問** 現在、新型コロナウイルスへの感染の有無を確認する手法として、PCR検査が一般的に用いられているが、PCR検査は、判定結果が出るまでに時間を要することや陰性であるにも関わらず陽性反応が示される「偽陽性問題」といった課題がある。SGNP検査法の活用が有効と考えるが、同検査に係る市の認識及び今後の活用方針を問う。

**答** SGNP検査法は、唾液や鼻から採取した検体中のコロナウイルスとインフルエンザウイルスを同時に検出できることや偽陽性が出にくいといった特徴がある。

## 緑風会 第2



松井 努  
松永 鉄兵

〔総括質問者〕  
石原みさ子

### 待機ステーションの運用開始

**問** 昨今、市内の保育園でクラスターが発生する等、新型コロナウイルスの感染が広がっており、救急の現状は悲惨であると思われるが、本市における救急の現状を問う。また、コロナの収束にはまだ時間を要すると見込まれるが、入院待機ステーションを設置できないか。

**答** 救急隊が現場に到着してから現場滞在時間の最長は、令和3年8月に10時間を記録しており、その際の医療機関への問い合わせ数は17回であった。なお、これまでの最多問い合わせ数は76回である。加えて、現場滞在時間を5時間以上要した事例は計12件あるが、そのうち11件は3年8月に集中しており、この長時間

### デリバリー

### 窓口の実現

**問** 市によると、現在推進している「窓口のワンストップ化」が更に進展した場合、今後は市職員の人数が減少していくとのことである。しかし、職員数を減らすに、高齢者や障がい者等の窓口まで来ることができない市民に対し、職員が直接訪問して行政手続きを行う「デリバリー窓口」を実現すべきと考えるが、市の認識について問う。

**答** デリバリー窓口の実現に向けた取り組みは重要である。市によると、現在推進している「窓口のワンストップ化」が更に進展した場合、今後は市職員の人数が減少していくとのことである。しかし、職員数を減らすに、高齢者や障がい者等の窓口まで来ることができない市民に対し、職員が直接訪問して行政手続きを行う「デリバリー窓口」を実現すべきと考えるが、市の認識について問う。

### 災害ポータルサイトの活用

**問** 近年、全国各地で水害が多発しているが、水害への対策としては、河川改修等のハード面の対策だけでなく、住民自らが適切かつ速やかに避難行動へ移すことができるよう、災害ポータルサイトを活用した災害情報の発信といったソフト面の充実も重要である。現在、本市の災害ポータルサイトは地震や洪水等の大災害時に運用する方針とのことだが、台風や豪雨の際にも活用する考えはあるか。

**答** 災害時には情報の種類や重要性に応じて、防災行政無線や市公式ウェブページ等の様々な手段を活用し、情報発信を行っているところである。災害ポータルサイトの運用については、現在、台風等でも活用できるよう準備をしており、誰にでも見やすいシンプルなデザインにすることや、試行的に道路状況を確認するパトロールで撮影した写真や冠水状況が分かる写真についても掲載していきたい。

### 自治会活動

**問** 近年は本市においても、自治会役員の高齢化や担い手不足、会員の減少に伴う自治会費の減収等により、自治会の運営が大変難しくなっているとのことであるが、本市では自治会活動の現状及び今後の展望をどのように認識しているのか。

**答** 自治会加入率は、平成25年4月時点では62%であったが、令和3年4月時点では53.2%と減少傾向となっており、その要因は自治会加入世帯の転出に加え、転入世帯の自治会への新規加入が少ないためと考えられている。また、現在はコロナ禍の影響により、自治会活動も大きな制約が出ている状況だが、コロナ禍を早く脱するためにも、市政の重要なパートナーである自治会の協力が市にとって大切であると認識している。そのため、引き続き自治会と綿密に連携しながら、コロナ禍を共に乗り越えるべく、市政運営を行っていききたい。

### 令和2年度決算

**問** 令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受ける中、通常の行政サービスに加え、市民生活を支えるための緊急経済対策等を行ってきた。その中で迎えた本市の決算の特徴及び状況について市

### 不登校児童生徒への支援

**問** 本市では令和元年度時点で524名の不登校児童生徒がいるが、県教育委員会が3年3月に作成した「不登校児童生徒・保護者のためのサポートガイド」には、学校に行けない子どもや保護者だけでなく、不登校児童生徒の対応に悩んでいる教員にも有益な情報が掲載されている。そこで、



不登校児童生徒・保護者のためのサポートガイド



自治会活動の様子

# 『村越祐民市長に「越川雅史議員からパワハラを受けたという職員に対し、第三者機関へ申し出ること」を進言することを求める決議について』を可決

今定例会最終日の9月13日、議員から「村越祐民市長に「越川雅史議員からパワハラを受けたという職員に対し、第三者機関へ申し出ること」を進言することを求める決議について」等が提出されました。

### ＜これまでの経緯＞

市長は8月24日の記者会見において、越川雅史議員から市職員に対しパワー・ハラメントがあったと発表し、同月30日、議長に対し市議会による調査と厳正な対処を求める申入れ書を提出しました。

これを受け本市議会では、各派代表者会議を開き対応を協議しましたが、全会派一致での結論には至らず、本会議での採決に委ねることとなりました。

### ＜決議の結果＞

本会議では、議員が議員を調査するのではなく、パワハラを受けたという職員に対し、然るべき第三者機関へ申し出ることを進言するよう市長に求める案（発議第27号）及び、市議会に特別委員会を設置した上で、必要に応じて議会から外部の専門家へ調査を委託し、公正・公平に判断してもらう案（発議第28号）が提出され、採決の結果、発議第27号については、23対17の賛成多数で可決し、発議第28号については、17対23の賛成少数で否決しました。

(審議結果は下記に掲載)

## 議員発議案の審議結果一覧

件名	各会派の賛否										審議結果
	公明党	創生市川会	無所属の会	日本共産党	緑風会1	自由民主党	緑風会2	立憲民主・社民	市民の風	市川市を良くする会	
○議員提出											
発議第16号 村越祐民市長の不信任を求める決議について	×	×	○	○	×	×	×	△	—	×	否決
17号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	可決
18号 村越祐民市長に対し、テスラ社製高級電気自動車の公用車導入を巡り、市政を著しく混乱させ、市政に対する市民の信頼を失墜させた責任を問う決議について	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	否決
19号 出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20号 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書の提出について	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	可決
21号 学校給食費無償化へ千葉県独自の助成制度の実施を求める意見書の提出について	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	否決
22号 教員免許更新制度の廃止と教職員の業務軽減を求める意見書の提出について	×	×	△	○	×	×	×	○	×	×	否決
23号 「重要土地等調査規制法」の撤廃を求める意見書の提出について	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	否決
24号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25号 村越祐民市長に対し、人が過密になる市民交流スペースを廃止するなど、感染症対策に万全を期す観点から第1庁舎のフロアレイアウトを見直すよう求める決議について	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	否決
26号 自身の「私設秘書」が逮捕されたほか、自身の後援会事務所が家宅捜索を受け、これに関連して副市長2名を含む多くの本市職員が千葉県警から事情聴取を受けたことにつき説明責任を果たさない村越祐民市長に対し、説明責任を果たすよう求める決議について	×	×	○	○	×	×	×	△	×	×	否決
27号 村越祐民市長に「越川雅史議員からパワハラを受けたという職員に対し、第三者機関へ申し出ること」を進言することを求める決議について	×	○	○	○	×	○	×	△	○	×	可決
28号 越川雅史議員による職員に対するパワー・ハラメントに関する特別委員会の設置に係る決議について	○	×	×	×	○	×	○	△	×	○	否決
29号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、欠席：—、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△  
※発議案の全文及び議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

### ライブ中継は「市川市議会ホームページ」から。

市川市議会では本会議の様子をインターネットでライブ中継しています。

市川市議会ホームページでは、市議会の日程や審議結果、会議録等の情報を掲載しています。

## インターネット議会中継

パソコンでも、スマホでも。

### 録画配信は「YouTube」から。

YouTube「市川市議会公式チャンネル」では、代表質問や一般質問等、本会議の様子をご覧いただけます。

≡ 市川市議会中継 🔍

市長提出議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, council party support status (賛否), and review result (審議結果). Rows include various municipal ordinances and resolutions.

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※可答申：異議ない旨答申
※議案の全文及び議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

9月定例会には、新たに請願1件が提出され、所管の委員会で審査し、議会はこれを採択しました。(審議結果は左表)

請願

9月定例会には、意見書案及び決議案14件が提出され、議会はのうち6件を可決し、8件を否決しました。可決した意見書は、9月16日に関係行政庁等へ送付しました。(審議結果は7面)

意見書・決議

出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円で、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4000円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賅えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。
国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年度にそれを恒久化、2015年には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万6000円に引き下げ、本来分39万円を40万4000円に引き上げた。2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1万2000円に引下げ、本人の受取額を4000円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握した上で増額に向けて検討することとしている。
一方、令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。
少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。
よって、本市議会は国及び政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求める。

令和3年定例会開会予定日

12月定例会 11月29日(月)

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

Table listing council members by party: 市川市を良くする会, 市民の風, 立憲民主・市民, 松石永原井, 緑風会第2, 自由民主, 日本共産党, 無所属の会, 創生市川, 公明党.

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。(この会派別議員名簿は令和3年10月27日現在のものです。)

●議員からの寄附やあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)は公職選挙法で禁止されています●